



知立市長
林 郁夫

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、さわやかな平成二十六年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市政の推進にあたり、ご理解、ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本年の干支は、馬であります。知立市は、東海道の宿場町で、歌川広重が浮世絵「東海

道五十三次」で描いたように馬市で栄えたまちであります。本年も安全で安心できるまちづくりなど、なお一層、住み良いまちとして栄えるよう尽力していくところであります。さて、昨年、東京オリンピック・パラリンピック（平成三十二年）の開催が決定されました。国民共通の大きな目標ができたことは素晴らしいことであります。一方で、東日本大震災をはじめ災害などで、まだご苦労を忘れていらっしゃる方もいらっしゃる。決してはなりません。市としては、引き続き、被災地への職員派遣などをしてまいります。

し心が薄れているとも言われており、相手を思いやる心の欠如は、人と人との縁が希薄化してきたことにもより、その復活には、日頃からのあいさつが重要であるとも言われております。昨年、子供議会において、『あいさつ都市宣言』の提言をいただきました。より安全で安心できるまち、より快適なまちとするためにも、まちのあらゆるところで、あいさつが交わされていく、そして『おもてなし』の心を誰もが持つことができ、そんな知立市にしていきたいと願っています。本年も、皆様方にとりまして、より素晴らしい年になりますよう祈念し、併せて、より住み良い知立市づくりのために、更なるご理解ご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十六年新年のごあいさつ



知立市議会議長
坂田 修

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年8月臨時会にて議長就任後、身近な議会、公正で公平な開かれた議会の実現を念頭

に置き、議会運営に努めてまいりました。さて、近年の地方分権に伴い、地方議会の役割は、ますます重要になっており、当市においても多くの課題を抱え、「知立駅付近連続立体交差事業」に関しては、三河知立駅移設計画・仮線工事着工、「知立駅周辺土地区画整理事業」に関しては、新しい町並みが目に見える形で進んでおります。

また、安心安全なまちづくりに関しては、昨年、富山県魚津市・福井県鯖江市・岐阜県下呂市と「災害時相互応援協定」を締結、防災ラジオの配布、産業の振興に関しては、「中小企業振興基本条例」制定等々施策を進めております。

市議会といたしましても、議会改革に取り組む中、昨年3月定例会において、議会の取

り決めの最高規範となる「議会基本条例」を制定しました。6月定例会においては、長年の懸案であった議員定数条例を一部改正し、次回の選挙から現状の23名から20名の定数で実施されます。また、毎定例会ごとに議会報告会を開催し、質疑された内容報告と意見交換を実施しております。

今後、議会の公開性・透明性を高め、市民の皆様にも身近で信頼される議会を目標に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も市民の皆様にとりまして、すばらしい年でありまして、心よりお祈り申し上げます。念頭のごあいさつといたします。